

内視鏡室:愛媛県立中央病院年報(2021 年診療業務報告書)

2013 年に新病院に移転したことにより、上下部消化管内視鏡室 4 室に加え、透視併用の内視鏡室 2 室、緊急内視鏡用検査室 1 室が設置され、緊急内視鏡検査も受け入れやすくなっています。また、超音波内視鏡装置が最新の機器に更新され、診断能力の向上につながっています。長年の懸案事項でした大腸内視鏡検査の前処置についても前処置室を設け、トイレも 7 室に増設されたことで、検査前の不安が軽減されました。

かつ、最近では自宅での前処置を行うことにより、検査の停滞を予防しています。そのため、年々、内視鏡検査数も増加傾向にあります。2020 年度はコロナ禍の中にあり、不要不急の検査を制限しながら対策も立て、安全に行うことができました。

2021 年からは新規にスパイグラス(経口胆道鏡)を導入し、今まで碎石困難であった巨大結石等も内視鏡的に碎石可能となりました。

毎朝症例カンファレンスの時間を設け、診療方針等についての検討を行っています。また、専攻医や研修医に対する教育にも力を入れています。

■ 内視鏡検査件数

- ・上部内視鏡 6,035件 ・下部内視鏡 2,659件
- ・小腸内視鏡 17件 ・ERCP 673件
- ・気管支鏡 361件 ・カプセル内視鏡 22件

	検査項目	件数
食道	食道スコープ	365
	EIS	1
	EVL	27
	EISL	21
	APC	0
	食道拡張術	27
	バイオプシー(人数)	315
	止血術	7
	メタリックステント挿入	7
	EMR	0
	異物除去	10
	EUS	7
	ESD	16

胃・十二指腸	胃・十二指腸スコープ	5,670	
	EMR	10	
	バイオプシー(人数)	1,232	
	ヘリコチェック	101	
	止血術 全体	64	
	異物除去	6	
	EUS	428	
	PEG	35	
	PEG交換(内視鏡使用)	38	
	幽門拡張術	0	
	ESD	114	
	メタリックステント挿入	3	
	イレウス管挿入	45	
	イレウス管造影	36	
大腸	大腸スコープ	2,659	
	バイオプシー(人数)	1,404	
	止血術 全体	26	
	EMR	809	
	EUS	15	
	ESD	77	
	メタリックステント挿入	39	
	イレウス管挿入	6	
ERCP	ERCP	673	
	EPBD	74	
	ERBD	290	
	ENBD	30	
	メタリックステント挿入	48	
	EST	157	
	IDUS	30	
	EST 採石	208	
	小腸内視鏡	小腸内視鏡(経口)	9
		小腸内視鏡(経肛門)	8
カプセル内視鏡	カプセル内視鏡	22	
気管支	気管支スコープ	361	
	TBB	106	
	TBLB	60	
	擦過・洗浄	351	
	異物除去	1	
	BAL	71	
	トイレット	0	
	EBUS	216	
	その他	0	